

もう一段階、THAの患者満足度を上げる： 疼痛評価とクライオセラピーの可能性

2025年

2月22日(土)

12:50~13:50

会場:第11会場

ポートメッセなごや イベント館

イベントホール第2室

座長



神野 哲也先生

(獨協医科大学 埼玉医療センター 整形外科 教授)

演者



福島 健介先生

(北里大学医学部 整形外科学 講師)

■認定単位 整形外科専門医資格継続単位(N) 必須分野番号:[11] 骨盤・股関節疾患

ランチョンセミナーの事前予約は行いません (当日整理券の配布もございません)

共催:第55回日本人工関節学会、日本シグマックス株式会社

もう一段階、THA の患者満足度を上げる： 疼痛評価とクライオセラピーの可能性

Development for increasing patients' satisfaction after total hip arthroplasty

福島 健介 先生

(北里大学医学部 整形外科 講師)

人工股関節全置換術(THA)は”operation of the century”と表現されるように20世紀において治療効果、安全性、コスト面において最も成功された手術とされています。一方で、少数ではありますが同じように手術を行ったにもかかわらず疼痛が持続する、十分な満足を得られない患者さんが存在します。

演者は明らかな変形性股関節症を有しない単径部痛患者の診療を通じて、「疼痛」そのものに興味を持つようになりました。すると、ただ「軟骨がすり減っているから痛いんだ」と思っていた、説明していた「疼痛」には実は様々な病態と性状があり、それが術後の疼痛遷延に関連しているのではないかと考えるようになりました。また、それは自分が経験的に思っていた「この患者さんよくならなそう…」という感覚を客観的に可視化するものであることに気が付きました。

本講演では当科でこれまで行ってきた疼痛評価に関する研究とそれを踏まえた現在の取り組みについて述べさせていただきます。加えて、日本シグマックス社と取り組んできたTHA後の冷却療法(クライオセラピー)についてご紹介させていただきます。

THAのど真ん中の議論ではないかもしれませんが、もう一段階どうにかできないかと思っている先生方のヒントになれば幸甚です。

会期中は日本シグマックス展示ブースにもお立ち寄りください!
展示場所:ポートメッセなごや 第1展示館 1F (小間番号22)

ICING SYSTEM CE4000II



THA術後のクライオセラピーでも
ご使用いただける冷却装置

股関節専用の固定カバーは
演者の福島健介先生に
監修いただきました!



医療機器認証番号 305AHBZX00015000

- ・術創部の腫脹の予防・低減、疼痛の緩和
- ・患者さんの負担軽減や入院期間の短縮に貢献
- ・0~18℃の温度設定で手間をかけずに連続冷却可能

SU Hip Brace

エスユーヒップブレース/股関節装具SU



THA術後の
脱臼リスク管理に

適切な動作制限と
装着時の快適性を
両立した股関節装具

- ・屈曲伸展の角度調節ができるアルミ製ヒンジ
- ・股関節の不安定性を軽減する股関節ストラップ
- ・体型に合わせて調節可能な各種パーツ